

令和4年度

No12

R5.2.27

南アルプス市立小中一貫校八田小中学校
南アルプス市立八田中学校



発行者

校長 笹本 学

1・2年 授業参観・学年部会を実施

2月17日に1・2年生の授業参観と学年部会を行いました。

授業参観では、1年生はやまなし探訪に向けて調べたことについての発表会の様子を、2年生は英語と社会の授業の様子を参観してもらいました。

また、学年部会においては、それぞれ学年で年間の総括や会計報告をさ

せていただきました。特に2年生では、来年度に向けて修学旅行や進路についても説明させていただきました。



コロナの感染状況も落ち着き、今回は例年のような形で授業参観を行うことができたので、多くの保護者の方に参観していただくことができました。今後、コロナの対応も変わってくるので、生徒の様子を参観していただく機会も徐々に増やしていければと考えています。

小学校6年生への出前授業を実施

小中一貫教育の取組の一つでもある小学校6年生への出前授業を行いました。(数学と社会を2月24日。理科は3月2日に予定)

普段は、外国語、体育、音楽の授業に中学校教員が行って教えていますが、今回はいつもと違う教科の授業ということで、6年生のみなさんは少し緊張した様子でした。

最初は緊張していた6年生も、緊張がほぐれてくると積極的に発言する姿も見られ、とても有意義な授業になりました。

中学校に入学してからも今回のように意欲的に授業に取り組んでいてもらいたいと思います。



地域に支えられていることを実感

2月10日に降った大雪の際、中学校でも雪かきが進まず困っていたところ、地域の道路を重機で除雪していた三友建材の中込さんが、中学校の敷地内の雪かきもしてくださいました。そのおかげで、後日、部活に来ていた生徒たちの有志で行った雪かきもスムーズにでき、校舎の陰が凍ることもなく過ごすことができました。

また、地域によっては通学路に残った雪が凍らないように、除雪をしたり、融雪剤をまいたりしてくださったところもあったと聞きました。改めて、地域で支えられている学校であることを実感させられました。

地域のみなさま、本当にありがとうございます。

部活動の地域移行にかかわって

2月22日に、本校が県の指定を受けて2年間取り組んできた「休日部活動の地域移行に向けた実践研究」の発表会が山梨県総合教育センターで行われ、県内の中学校や教育委員会の方にその成果と課題について発表しました。またそれに先立って、2月18日には、その取組についてUTYから取材を受けました。

本校では以前この学校だよりで紹介したように、陸上部と女子ソフトテニス部を地域の外部指導者の方に指導してもらっています。お二人の外部指導者は、元中学校の体育教員であったため、部活動の意義を理解し、学校とも積極的に連携していただいたので、生徒や保護者からは大変好評であったというアンケート結果が出ています。

一方で、ニュースなどで報じられているように、すべての部活動で学校と連携して指導ができる指導者を確保できるのか、それに必要な経費はどうするのかという意見も出されました。また、本校のような学校規模では、単独で活動するには厳しい部活動もあるのでそのような部活はどうするのか、という課題点も出されました。

今後については、国及び県の動向を受けて南アルプス市でも教育委員会が検討委員会を立ち上げ検討していくことになっているので、本校もこの2年間の成果と課題をふまえながら、市教委と連携して進めていきたいと考えています。

なお、UTYの取材の様子は、3月2日(木)の『スゴロク』で放送されます。

